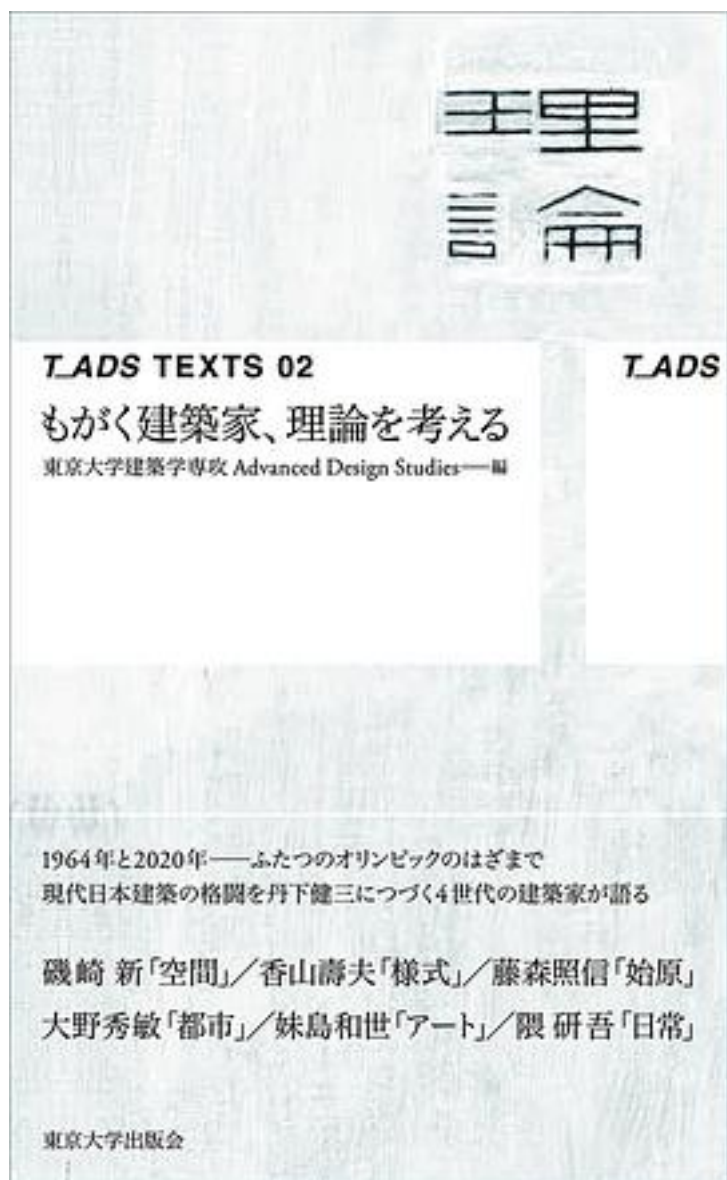


もがく建築家、理論を考える



[もがく建築家、理論を考える_下载链接1](#)

著者:隈研吾

出版者:東京大学出版会

出版时间:2017-6-30

装帧:平装

isbn:9784130638517

1964年と2020年――ふたつのオリンピックのはざまで

現代日本建築の格闘を4世代の建築家が語る

ふたつの東京オリンピックのはざまで、時代の大きなうねりのなか形作られた現代日本建築の多様性を「理論」「技術」「都市」「人間」という四相から見直すシリーズの第1弾、「理論編」。日本を代表する建築家自身による作品解説とインタビューによる現代日本建築入門。

★読者へのメッセージ(隈研吾)

1945年の敗戦から、1964年の東京オリンピック、そして2020年の2回目の東京オリンピック。このあいだの日本の建築は、あらゆる意味で近代の矛盾を引き受けてきました。よく世界の人たちから「日本の建築はどうしてこんなにおもしろいのか」と聞かれますが、それは日本の建築がそれだけ矛盾にさらされて、矛盾の中でもがいてきたから、そのもがき方がおもしろかったんだと思う。今回の企画では、そのもがきの渦の中で戦った建築家たちの肉声を通じて、日本建築のおもしろさを感じ取ってほしいと思います。

作者介绍:

目録: 01 なぜいま丹下健三から考えるのか(隈研吾+小渕祐介)
02 空間を感知するために(磯崎新)
03 様式を共有する(香山壽夫)
04 建築の始源へ(藤森照信)
05 つなぐ建築(大野秀敏)
06 建築より大きく、都市より小さく(妹島和世)
07 日常の建築家(隈研吾)
・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[もがく建築家、理論を考える_ダウンロード1](#)

标签

建筑

藤森照信

磯崎新

香山壽夫

随笔

隈研吾

设计

艺术

评论

[もがく建築家、理論を考える_ダウンロード1](#)

书评

[もがく建築家、理論を考える_ダウンロード1](#)